

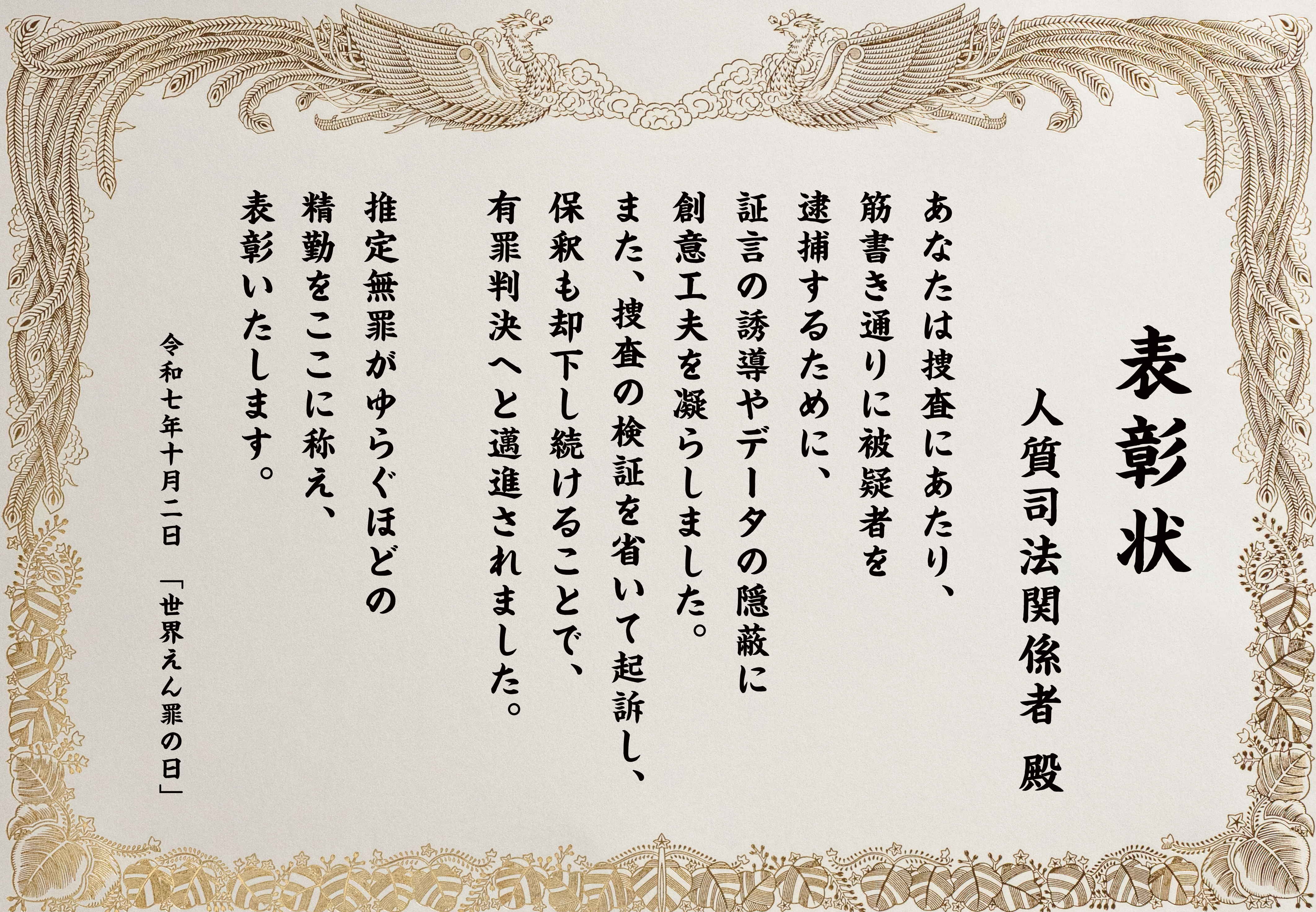
この国では、えん罪も成果になる。

表彰状

人質司法関係者 殿

あなたは捜査にあたり、
筋書き通りに被疑者を
逮捕するために、
証言の誘導やデータの隠蔽に
創意工夫を凝らしました。
また、捜査の検証を省いて起訴し、
保釈も却下し続けることで、
有罪判決へと邁進されました。
推定無罪がゆらぐほどの
精勤をここに称え、
表彰いたします。

令和七年十月二日 「世界えん罪の日」



大川原化工機事件は、えん罪だった。にもかかわらず、
警視庁公安部外事1課は「警視総監賞」「警察庁長官賞」を受賞し、捜査員の多くが昇進しました。
検察は警察の違法捜査を追認し、裁判所は保釈を却下し続けました。
被告人の一人は胃がんと診断されましたが、それでも保釈されず、無実が明らかになる前に病死しています。
真実を曲げてでも、立件すれば評価される。
それが、長期勾留で嘘の自白を引き出す「人質司法」につながっています。
どうかこの問題に関心を持ってください。
そして、人質司法見直しへの世論を高めてください。
私たち一人ひとりの声が、えん罪を「成果」から「恥」に変えるのです。

本日10月2日は世界えん罪の日です。



ひとごと
じゃないよ!
人質司法

by
ヒューマンライツ・
ウォッチ
×
インセンティブプロジェクト・
ジャパン

